

「職場のストレスに関する調査」 にご協力いただいた方へ

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野では、職場のストレスに関する調査を実施しています。

【研究課題】

職場のストレスに関する調査（多施設共同研究）（審査番号：10125-(4)）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野
※主任研究機関
研究責任者 川上憲人
(東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野, 教授)
担当業務 東京大学（データ収集・匿名化・データ解析）

【共同研究機関】

研究機関 産業医科大学生態科学研究所精神保健学研究室
(担当者：井上彰臣)
※2017年3月31日まで
和歌山県立医科大学医学部衛生学教室
(担当者：津野香奈美)
北里大学医学部公衆衛生学単位
(担当者：井上彰臣)
※2017年4月1日より
大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座環境医学
(担当者：安藤絵美子)
※2017年6月1日より
担当業務 データ解析（産業医科大学，和歌山県立医科大学，北里大学，大阪大学）

【研究期間】

2013年5月13日から2016年10月28日（データ収集完了日）

【対象となる方】

2013年5月14日～2016年9月30日の間に、当該事業場における20歳以上の職員で、調査票に回答した方。

【研究の意義】

労働者を対象とした国内外の先行研究から、職業性のストレスが、労働者の心身の健康に影響を及ぼすことが明らかになっていますが、そのメカニズム

は明らかにされていません。また、近年では、従業員の心身の疾患を予防するだけでなく、ワーク・エンゲイジメント（仕事に対する前向きな関わり方）などのポジティブな要素に着目して従業員の健康を促進する動きも見られ、今後十分な検討が必要です。さらに、このような職場の心理社会的要因が、ヒヤリハット体験などの安全面に及ぼす影響は、十分に明らかにされていません。本研究により、職場のストレス要因が、従業員に与える健康影響の詳細なメカニズムだけでなく、安全面への影響が明らかになり、職場の心理社会的要因が従業員に与える影響について、より多面的で包括的な理論的枠組みの構築に貢献することが期待されます。

【研究の目的】

本研究では、20歳以上の医療機関職員約700名を対象に、職場の心理社会的要因（職業性ストレス）と、心身の健康、健康リスク行動、産業安全との関連を検討することを目的としています。

【あなたが研究対象として選ばれた理由】

本研究の担当者である井上彰臣が文部科学省学術研究助成基金助成金に係る調査実施施設を募集した際に、調査を行った事業場より参加同意の連絡をいただきました。調査の実施に当たり、調査票の作成、匿名化、解析を分担するため、井上が博士課程終了時まで在籍した、東京大学医学系研究科精神保健学分野に共同研究の打診があり、川上憲人教授の監督の下、職場のメンタルヘルスを研究テーマとする津野香奈美と安藤絵美子の両名が参加することとなりました。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

あなたが回答した調査票は、専用の封筒にいれあなた自身の手で密閉され、調査場に設置した回収ボックスへの投函（東京大学の調査担当者によって施錠）もしくは東京大学に直接郵送して回収されます。回収ボックスは東京担当者の手によって解錠され、調査票を回収、未開封のまま東京大学に郵送されます。

調査票は、東京大学にて、氏名および職員番号の書かれた表紙と、回答結果の書かれた本体が切り離されたのち、電子化されます。調査票には職員番号とは異なる通し番号を付け、氏名、職員番号、通し番号のデータを事業場に送ります。事業場では、氏名と職員番号をマッチングコードとして、健康診断データ、医療事故データを結合し、その後氏名と職員番号のデータを除いて、通し番号＋健康診断データ＋医療事故データを東京大学に返却してもらいます。通し番号に基づく調査票の結果、健康診断データ、医療事故のデータは、解析のために産業医科大学、和歌山県立医科大学、北里大学、大阪大学にも送られます。送付の際は、日付指定の宅配便を用い、解析担当者が直接受け取ります。データには、パスワードをかけ、パスワードは宅配便とは別に解析担当者に送られます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集されるデータ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

あなたの情報・データ等は、産業医科大学、和歌山県立医科大学、北里大学、大阪大学に送られ解析・保存されますが、送付前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において安藤絵美子（管理責任者）が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけた別媒体で厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

○この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は下記の研究事務局まで 2017年5月29日までにご連絡ください。もしくは、調査の際に配布した同意撤回書を下記までご郵送ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

○研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら下記の研究事務局へお尋ねください。

○この研究に関する費用は、文部科学省学術研究助成基金助成金（研究課題「職場における組織要因が従業員の健康と安全に与える影響についてのコホート研究」、研究代表者：井上彰臣）（研究課題「雇用形態別に見た企業における組織的公正と従業員への健康影響に関するコホート研究」 研究代表者：井上彰臣）（研究課題「職場のincivility と、労働者の健康・医療安全リスクに関するコホート研究」研究代表者：津野香奈美）（平成27年度産業精神保健学会研究助成、研究代表者：安藤絵美子）から支出されています。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

担当者：安藤絵美子

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-3364 FAX：03-5841-3392

メールでのお問い合わせ：andoemiko-tky@umin.ac.jp

※お問い合わせの際には、「オプトアウト」の件でお伝えいただき、1ページ目の研究課題名と審査番号をお知らせください。